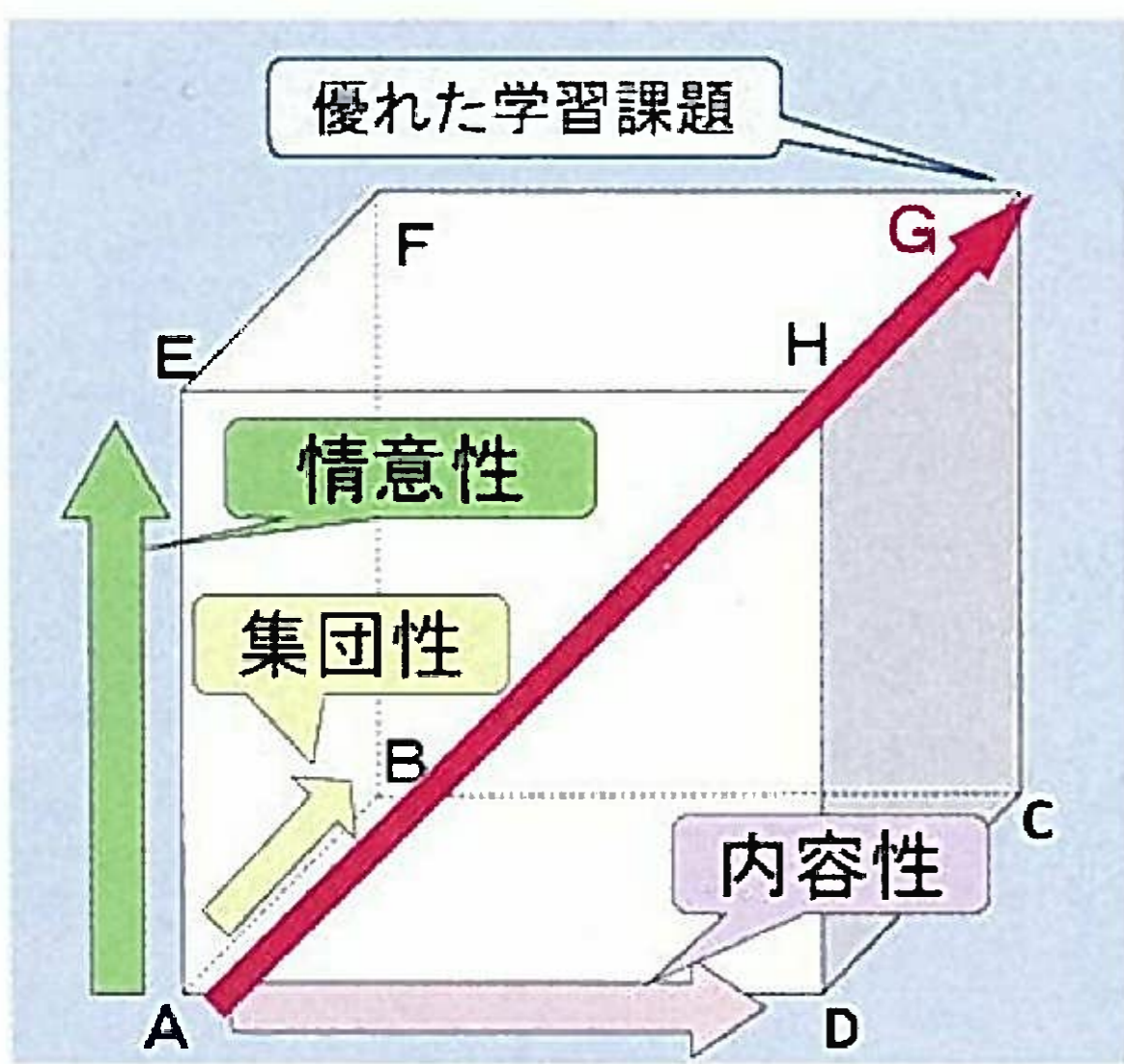


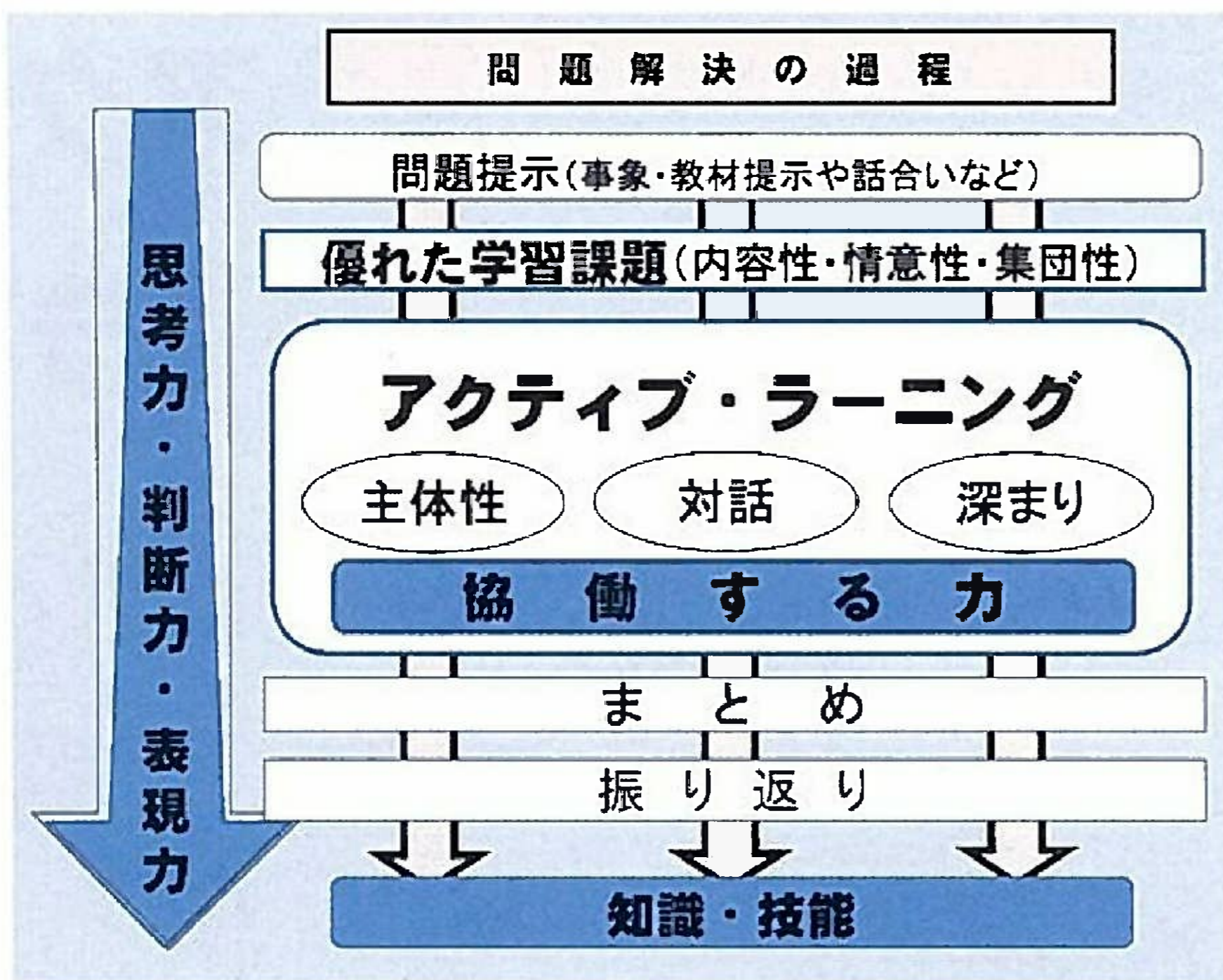
優れた学習課題とアクティブ・ラーニング

内容性、情意性、集団性の高い、優れた学習課題を設定します。



- ・ **内容性**…学習課題の求める内容が、学習指導要領に示されている指導内容と的確に対応している。
- ・ **情意性**…子どもの興味・関心や問題意識、必要感を基に設定されている。
- ・ **集団性**…学級全体が追究に向けての意欲をもっており、子ども同士がかかわる必要性がある。

優れた学習課題を設定することで、児童生徒に**主体性**が発揮され、**対話**によって協働性が生まれ、学習が**深まります**。

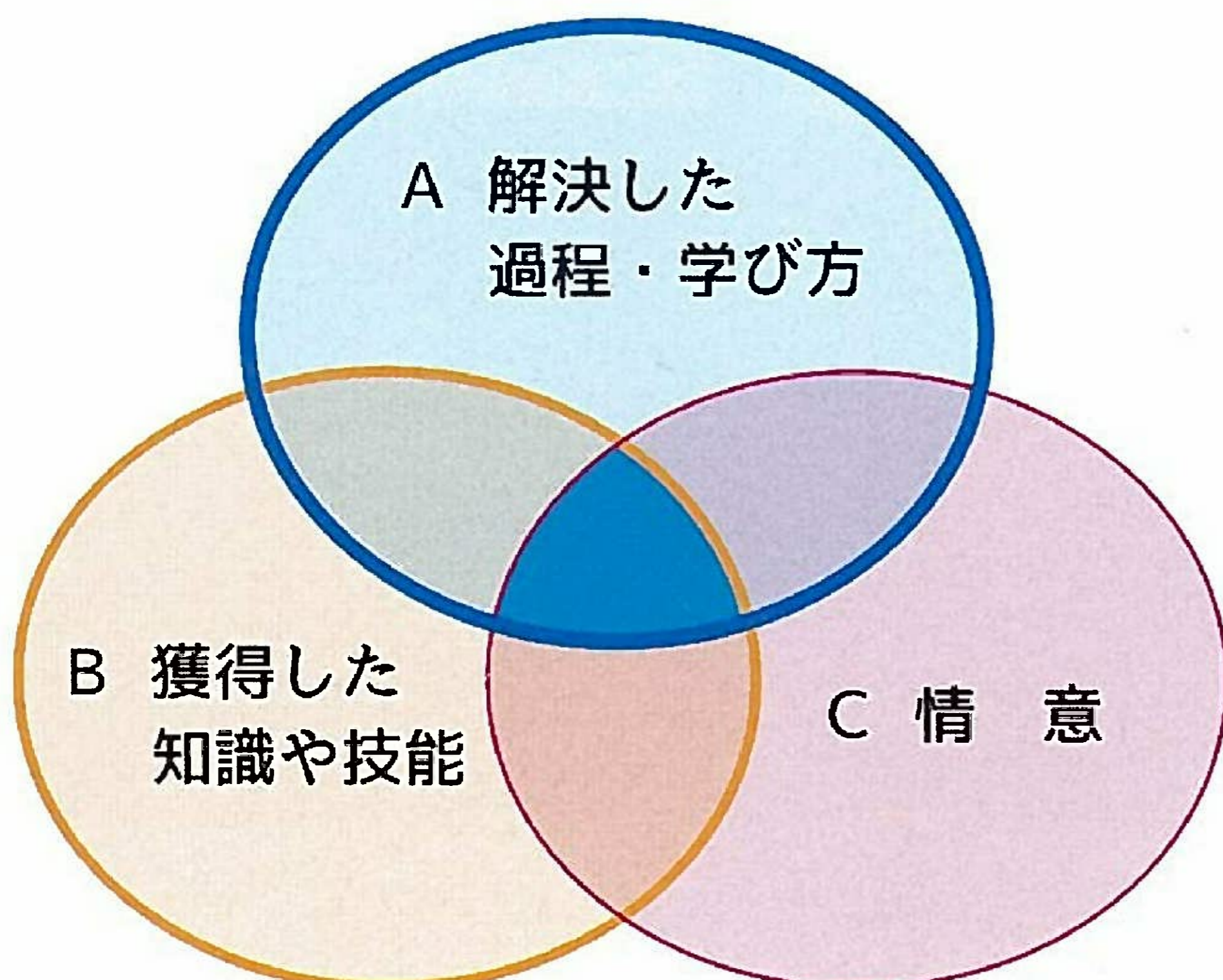


アクティブ・ラーニングは「学習課題」と「まとめ」を含む問題解決の過程全体を指しますが、新潟市では、特に、教室でのファシリテーション、ペア学習、グループワーク等の協働的に学ぶ場面に着目します。

アクティブ・ラーニングを繰り返すことで思考力・判断力・表現力が高まり、協働して問題を解決する力が身に付いていきます。

「学び」を自覚する振り返り

授業の終末や単元の節目の時間に振り返りの場を計画的に設定し、次の三つの「学び」を自覚できるようにします。



多くの場合、A・B・Cの振り返りは単独ではなく、それぞれを含んだ形で行われます。